

ICBA Newsletter

リトルインディアン文庫&アルカンシェル文庫	1
UK 支部から	2
UK 支部からつづき・東京から	3
新しく開設された文庫紹介(海外)	4~5
きたむらさとしさんキャンプ	6
My Bookshelf	7
国際児童文庫協会	8

国際児童文庫協会 ニュースレター No 72, April. 2013

~ようこそ お話の世界へ~

Hello, everyone! Bon jour, tous! こんにちは!



川崎市立の図書館で、公開のおはなしかいを開催しました!

2012年8月21日、川崎市教育委員会との合同主催で、リトルインディアン文庫(英語文庫)とアルカンシェル文庫(フランス語文庫)の読み聞かせ会を新百合ヶ丘・川崎市立麻生図書館で開催しました。図書館に来る子どもたちに外国の言葉で絵本を楽しんでもらおうという企画で、帰国児を含む一般の子どもたちが30名も集まりました。始まりはあいさつの言葉。それからみんなに馴染みのある「親指どこ?」の歌を三つの言葉で歌いました。同じフレーズを繰り返すので歌いやすかったようです。次に絵本『それはひ・み・つ』の読み聞かせ。主人公のねずみの他にたくさんの動物が登場するお話です。三つの言葉で動物の名前を覚えてから、こんどは英語—フランス語—日本語の順で読み聞かせました。参加者は最後まで楽しんで聞いてくれました。この読み聞かせを通して、これからも外国の言葉やお話、また文庫活動に興味を持ってくれたらうれしいですね。

動物の名前はね~



ひみつはわかったかな?



『それはひ・み・つ』

ISBN: 978-4062626064

エリック・バトゥー著

石津ちひろ訳 講談社 2005年

『Le secret』

ISBN: 978-2278054534

『Little Mouse's Big Secret』

ISBN: 978-1402774621





UK 支部ニュース

<http://www.kodomobunko.org.uk/>

英国王立キュー植物園

東日本大震災復興祈念式典 記念植樹及び種子贈呈セレモニー

2012.4.3 Tue.

2011年3月11日に起こった東日本大震災の被災地には、世界各国から支援応援の手が差し伸べられたが、英国からも即刻国際緊急救助隊 63 名が岩手県に向かったり、英国各地のコミュニティから寄せられた義援金がチャリティ団体を通じて届けられた。

これら世界中から寄せられた支援に感謝の心を伝えると共に、被災地の復興を願うため、4月3日（火）に英国王立キュー植物園で「東日本大震災復興祈念式典」が行われた。岩手県山田町から2人の小学生が招かれて出席、英国側からは ICBA UK 支部の子どもたちが約 50 名参加した。日本大使やキュー植物園の園長と共に、宮城、福島県の県木である欒（けやき）を2本植樹した。また、大津波を耐えた奇跡の一本松と同種の松の種がシーズバンクに寄贈された。ICBA は各文庫で手作りしたカードを大型の紙に



子どもたちによる県木の植樹



～イベントに参加して～

- * 山田町のお友達に会えてうれしかった。（みつばち文庫 OB）
- * 困難に負けず、強く生きていこうという強い意志を感じ、私達の活動がその手助けの一つになれば嬉しいと思いました。（みつばち文庫 OB）
- * 子どもとともに植樹イベントに参加したが、子どもが日本の被災地のことを感じ、考える機会になってよかった。（ちびっこ文庫）

貼付け、式典の時にそれらを掲げて、式場に明るい雰囲気を作り出した。式の後、それらは山田町の子どもたちへのプレゼントとして持ち帰っていただいた。被災者代表として山田町の小学生が選ばれたのは、ICBA が山田町龍昌寺の保育園と「草の根支援活動」を行っていることと全く無関係であったようだが、ICBA としては嬉しいことであった。（UK 支部 森嶋瑤子）



Holland Park

「京都庭園」における天皇・皇后両陛下奉迎

2012.5.17 Thurs.



～イベントに参加して～

- * 本当に素晴らしい日でした。お近くでお声をかけていただき、お二人の素晴らしい人柄や日本国民を思われるお心を感じました。（ちびっこ文庫）
- * 英国にいるのに大変貴重な体験をさせていただきました。正に目の前で陛下と皇后様に会うことができ、英国人の主人、娘も感動、素晴らしい機会でした。（杉の子文庫）
- * 皇后様に「みなさん、お元気ですか」とお声をかけていただき、とても嬉しかったです。（杉の子文庫）

エリザベス女王のダイヤモンド・ジュビリーのお祝いの行事に出席のためロンドン訪問をなさった両陛下は、5月17日（木）午前中、ロンドンのホランドパーク内にある「京都庭園」を訪問、散策された。庭園前で約 500 人のロンドン在留邦人が奉迎したが、ICBA 文庫の子どもたちも約 80 人が母親たちと一緒にお出迎えした。ダンさんが子どもたちと一緒に折り紙で富士山を折り、それをそれぞれ持って並び、両陛下とお話をする機会を頂くことが出来た。

19日（土）に大使館で両陛下をお迎えして行なわれた在留邦人のレセプションでは、ICBA UK 支部を代表して森嶋は皇后様に文庫活動および草の根支援活動についてお話し申し上げた。（UK 支部 森嶋瑤子）

IBBY Congress London 2012

INTERNATIONAL BOARD ON BOOKS FOR YOUNG PEOPLE **iBBY**

2012年8月23～26日、ロンドン・インペリアル大学にて、IBBY（国際児童図書評議会）世界大会が開催された。大会テーマは「**Crossing Boundaries: Translations and Migrations**」

日本からは、JBBY（日本国際児童図書評議会）の村山隆雄会長、攪上久子氏、末盛千枝子氏の3名がアーリーボード・セッションで、***For children after 3.11: Reports from Japan***と題して、東日本大震災の被災地支援についての報告を行った。残念ながらセッションの時間が短く、ICBA UK支部として参加、報告はできなかったが、事前にJBBYに「草の根支援」についてお伝えしたので、JBBYの村山会長が報告の中でその活動について触れて下さった。セッション後に改めて、村山会長にICBAの活動についてお話ししたところ、災害直後に「草の根活動」を立ち上げた経緯がよくわかったと喜んで下さった。（UK支部）

*今年さまざまな場所でICBAの活動を発表する機会があり、UK支部では新たにリーフレットを作成。IBBYロンドン大会においても配布することが出来た。



国内ニュース

<http://www.icba-1979.org>

- *7月1日(日) りんご文庫ラムゼイさん、オリーブ文庫杉山さん 銀座ナルニア国で運営と会合
一時帰国中のお二人とICBA運営委員6名が銀座ナルニア国でお会いして、情報交換をしました。
- *8月21日(火) リトルインディアン文庫&アルカンシェル文庫 図書館で読み聞かせ会開催
表紙で写真を紹介した通り川崎市立麻生図書館で、英語、フランス語、日本語での読み聞かせ会を行いました。これは前の館長さんとの雑談の中からのアイディアで、後に依頼があり実現しました。残念なことに前の館長さんは準備期間中にお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。
- *10月23日(火) 文庫ミーティング
リトルインディアン文庫、湘南エコー文庫、ハンブティダンブティ文庫の代表者と運営で文庫ミーティングを開きました。現在の文庫活動を報告し合い、次のフェスティバルについて話し合いました。また、初の試みである本の交換会を行い、UK支部のみなさんから寄贈いただいた英語絵本を国内文庫の方へお渡しする機会となりました。短い時間でしたが、実りのあるミーティングでした。
- *10月23日(火) 「みやまえ 本とお話の一週間」に参加
ICBA運営は、川崎市宮前区で毎年行われている「みやまえ 本とお話の一週間」に参加しました。ICBAの組織や文庫活動を展示紹介するとともに、「世界に広がれ!本の輪～活躍する国際ボランティア～」の時間には、NGOルーム・トゥ・リードとともに活動報告を行いました。私たちの活動を広く知ってもらいたい機会でした。
- *10月28日(月) 運営・海保、実践女子大学の授業でICBAの活動を紹介
実践女子大学・小林卓先生からの依頼をうけ、同大学図書館学の授業で、ICBAの活動を紹介しました。文庫活動の写真を見てもらったり、関連本を紹介したりと興味をもってもらうよう努めました。



*11月3日(土) リトルインディアン文庫 「川崎市 Student International Festival」参加

11月3日(土)、リトルインディアン文庫は、川崎市宮前市民館で行われた「第28回川崎市スチューデント・インターナショナル・フェスティバル～感動的な世界への訪問～」に参加しました。この日のためにみんなで練習を重ねた“BINGO”を振りとともに英語で歌い、“世界にひとつだけの花”を歌と手話で披露しました。参加は今年で3回目。みんな元気いっぱいに歌うことができました。



新文庫紹介 welcome Everyone!



UK Wimbledon・ちいろば文庫

文庫名： ちいろば文庫

代表者： 立石美鈴

設立日： 2012年10月

子どもの年齢： 3才～13才

家族数： 6家族、16名

活動日： 隔週水曜日、毎月2回程度

活動場所： Wimbledon地区
(可能な家の持ち回り)

活動内容： フラッシュカード、読み聞かせ、紙芝居、季節の工作、子どもたちの発表、手遊び歌など。子どもたちが日本語を自信をもって話せる、または、読み書きができるようになる会をめざしていきたくと考えています。

文庫の特徴： 同じWimbledon地区にある杉の子文庫のウェイティングリストを少しでも解消できるよう、Tootingで活動していた「ちいろば文庫」を引き継ぎ、発足しました。メンバーに杉の子文庫のOGがひとりいますが、ほとんどが素人の集まりでいつも手探り状態です。しかしながら一時間、子どもたちの笑顔を決することなく活動しています。赤ちゃんから中学生までいますので、大きな子どもには読み聞かせや紙芝居も任せたり、小さい子どもの工作のお手伝いをしてもらっています。



UK支部マネージャー
森嶋瑤子さんの文庫訪問



絵本の読み聞かせ中



『どの絵本読もうかな?』



UK Nottingham・ひらみよ文庫

文庫名： ひらみよ文庫

代表者： ゴートン 絢子

設立日： 2012年10月

子どもの年齢： 1歳から4歳

家族数： 5家族

活動日： 毎月1回木曜日

活動内容： ひらみよ文庫はイギリス NottinghamとDerbyに住む子どもたちを対象に創立したばかりの文庫です。月に1回、代表者宅に集まり活動をしています。紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊

び歌や童謡、ひらがなのお勉強などを通して楽しく日本語と日本文化に触れています。子どもたちだけでなくお母さん同士も楽しく交流しています。

文庫の特徴： 参加している子どもたちは1歳から4歳までと小さな子ばかりですが、みんな集中して絵本や紙芝居を聞いています。イギリスにいなながら質のいい日本語の絵本を子どもたちと読める幸せに、会員一同心から感謝しています。



海外便り from ルマキタ文庫 (インドネシア)

新しく寄贈本を追加しました!

ルマキタ文庫は、Facebookを通して「一般社団法人みんなのとしょかん」の日本語絵本のインドネシア語翻訳活動を知り、連絡を取りました。そのやり取りの中で、翻訳したインドネシア語のシートを張り付けた絵本を寄贈されました。「インドネシア語が表記されている絵本はストーリーが理解しやすく、子どもたちが集中します。ひとりで本を読む時間が増えて喜んでます。」とルマキタ文庫高橋さんのお話。インドネシアならではのこうした柔軟な取り組みも、子どもたちの“Feel good”が本との長い関わりに繋っていくひとつの方法かもしれません。

*「みんなのとしょかん」のプロジェクトのひとつにインドネシア・アチェに絵本を送る活動があります。尚、ICBAもFacebookに登録していますので、アクセスして「いいね!」してくださいね!(運営 海保)


Italy Rome・オリーブ文庫

文庫名： オリーブ文庫
代表者： 杉山智美
設立日： 2012年6月
子どもの年齢： 0歳～10歳
家族数： 9家族
活動日： 毎月1回
活動内容： まだ始まったばかりで試行錯誤していますが主に3歳前後と5歳以上のグループに分け手遊び、童謡・わらべ歌、伝承遊び、絵本の読み聞かせ、紙芝居、折り紙など季節の行事を取り入れながら楽しく活動していきたいと思っています。

また同時に不便なことも多いイタリアで子育てしている日本人お母さんたちの交流の場になればと思います。
文庫の特徴： オリーブ文庫はローマの東で月1回午後に、古代遺跡のある広い公園や文庫会員が運営する「和楽」という文化交流スペースで活動しています。会員は9家族、子どもの数は0歳～10歳まで16名が登録しています。

The official voice of ICBA



『古代ローマを感じる野外での活動の様子』



バナナの話より



Australia Perth・パースこども文庫

文庫名： パースこども文庫
代表者： 川崎享子
設立日： 2012年6月
子どもの年齢： 4歳から15歳
家族数： 4家族(6人)+ゲスト
活動日： 毎月2回土曜日/2時～5時
活動内容： それぞれ好きな本を読んだり、読んでもらったりした後、本で読んだものを外に出て探したり、作ったりします。イモムシのお話の後は畑の野菜についているイモムシをとってきて観察。庭にバナナがなった時はバナナのお話を

読んで、実際のバナナと比べ、虫のお話の時は、虫の切り紙。みんなでおやつの後、最後に(これが一番長い!)外に出て遊びます。楽しく身体で日本語、日本文化に触れてもらうことを願っています。

文庫の特徴： 5年ほど前に3人のお話会から始まりました。あまり日本語の本がなかったので、毎月送られてくる福音館の絵本雑誌に大変お世話になりました。少しずつ本も子どもの数も増え、読める本の幅も広がってきました。


Germany Frankfurt・ふらふら文庫

文庫名： ふらふら文庫
代表者： 昇かつら
設立日： 2012年6月
子どもの年齢： 2才～7才
家族数： 4家族
活動日： 隔週金曜日の夕方
活動場所： Frankfurt am Main
活動内容： 読み聞かせを軸に、季節の文化行事にちなんだ活動や食文化の紹介(美味しく楽しく作って食べる!)、言葉遊び、伝承遊び、などを行っています。

文庫の特徴： 日本にゆかりのある子どもたちが、日本の文化を体験・理解し、日本語で理解すること・表現することを楽しく永く続けられたらという願いを持って活動しています。そして何より、同じ地で日本にゆかりのある子どもを育てる家族同士が知り合い繋がることで、保護者にとっても楽しい時間になっています。

写真は、手作り絵本、「うさぎとかめ」です!



『今日のお話は何だろう?』



きたむらさとしさんワークショップ『紙で遊ぼう!!』@ニコニコキャンプ!!

2012年8月10日(金)

場所： 栃木県のボーイスカウト連盟那須野野営上の食堂

参加者： 小学1年生～6年生の47名とボランティアスタッフ約20名

ICBA「草の根支援」の一環として絵本作家のきたむらさとしさんによる『紙で遊ぼう!!』ワークショップが「第4回ニコニコキャンプ!!」の最終日に開催されました。このキャンプは2011年の東日本大震災と放射能の影響により、野外であまり遊ぶことができない福島県双葉地域の子どもたちが対象でした。



★REPORT 1★ “盛り沢山のワークショップ”

ワークショップはきたむらさんの手作り紙芝居によるなぞなぞからスタート（上の写真がその時の様子です）。次の紙芝居はきたむらさんの絵本『オレのカミガタどこかへん?』でした。お話を聞き終えた子どもたちは、主人公のライオネルのように自分に似合った髪型を作ること！紙の中央部分をくり抜き、絵具・クレヨン・ポストイットなどを使い、自由な髪型を作りあげました。後半は、絵本『ミリーのすてきなぼうし』のスライドによる読み聞かせでしたが、ここでも楽しいアクティビティーがありました。まずはきたむらさんが作ったアイデア満載のユニークな帽子を手にとって見せてくださったのです。帽子に切り目を入れて二ワトリの顔を作った作品などを見て、「うわー、すごい!」と子どもたちは大興奮！きたむらさんが用意して下さった画用紙の帽子を手に取り、すぐに工作に取りかかりました。



〈ポストイットでカーリーヘア!〉



どうなるのかな
ミリーは。

〈ミリーの絵本を読書中〉

★REPORT 2★ “素敵なサプライズ”

それは、きたむらさんが子ども達ひとりひとりの名前を『ミリーのすてきなぼうし』の絵本にサインをして、その場で直接手渡してくださったこと！子ども達は帽子作りに夢中で、サインをしているきたむらさんには気付かませんでしたから。出来上がった作品は、恐竜のオリジナルストーリーを描いた帽子、動物の顔が飛び出している帽子、卒業式の帽子、魔法使いの帽子など、どれも想像力豊かなユニークなものでした。早めに帽子作りを終えた子どもの中には、贈られた絵本を静かに読む姿もありました。時間が和やかに過ぎ、ワークショップを終えたきたむらさんには、子どもたちと一緒にお昼をとっていただきました。キャンプの最後には、参加者全員からきたむらさんへお礼の歌のプレゼントがありました。

☆ご支援・ご理解の御礼☆

ワークショップ開催にあたりまして、多大なサポートとご理解をいただき感謝申し上げます。ICBA 本部および UK 支部の草の根支援口座にお寄せくださったご寄付の一部を、今回の経費、および子ども達にプレゼントした『ミリーのすてきなぼうし』の絵本購入に使わせていただきました。また BL 出版からは同絵本10冊を寄贈いただきました。ワークショップに必要な材料を揃え、2日間にわたるキャンプに参加して下さった絵本作家のきたむらさん、機会を与えて下さった「子どもの心と身体の成長支援ネットワーク」に心より御礼申し上げます。

✿「草の根支援」にご賛同いただいたUK支部、ご寄付くださったハンパティダンパティ文庫OG会、その他の皆様にも、この場を借りて御礼申し上げます。

(報告: ICBA 仁志田)

MY BOOKSHELF

The official voice of ICBA



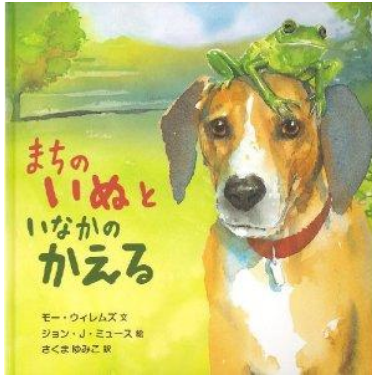
このコーナーは、ICBAの仲間の本棚から、絵本だけでなく幅広い分野の本を紹介していきます。気になった本はどれでしたか？

変わるものと変わらないものを見つけてください。

『まちのいぬといなかのかえる』

ISBN: 978-401112221

モー・ウィレムズ著 ジョン・J・ミューズ絵 さくまゆみこ訳 岩波書店 2012年 1995円+税



初めてこの絵本に出会った時、端々に見え隠れするユーモアがどこか見覚えがあるな—と思ったら、『ハトにうんてんをさせないで』や『トクシーのくたくたうさぎ』の人気作家、モー・ウィレムズでしたが、いつもの作品とはすこし違う面があります。

ストーリーは、ある春に、まちのいぬといなかのかえるが会うところから始まります。それぞれの“いなかのあそび”、“まちのあそび”を教えてもらい、ほんわかと流れる時を一緒に過ごします。でも、冬になるといなかのかえるは現れません。この絵本には「友情」・「命」・「新たな出会い」といったテーマを、春夏秋冬の季節感一杯のイラストと共に感じられるでしょう。読みきかせて感じたことを共有し、色々なテーマに膨らませられる、奥の深い1冊です。(運営 仁志田華子)

痛みをこえて、生み出された110の珠玉の言葉

『信じる力 生きる力』

ISBN: 978-47780-37291

浜 文子著 小学館クリエイティブ 2011年 1000円+税

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、浜文子さんは雑誌eduに「母を旅するあなたへの手紙」を連載されている詩人、エッセイスト。育児、教育、介護をテーマに全国で精力的に講演も行っています。自分の育児に戸惑い、立ち止ったときに、本書の「母」としての経験から生まれた力強い言葉が私たちを励まし、立ち上がらせてくれることでしょう。言葉の力を感じることができる一冊です。

「あなたであること、 それだけで選ばれた人」

「大変なことがある分 思い出は濃くなる」

「分かり合えること そのことに近道はない」

暮らす場所が違って、家庭を営む全ての人に共通するテーマをもった『母になったあなたに贈る言葉』、『お母さんと呼ばれるあなたへ』もおすすめです。(運営 海保由子)



この絵本の売上げによる収益は、「3.11からの出発」活動の資金になります。

『うれしいさん かなしいさん』

ISBN: 978-488569-212-3

まつおかきょうこ さく・え 東京子ども図書館 2012年 1000円+税



「毎年11月23日勤労感謝の日に、東京子ども図書館ではバザーが開いています。30年以上前、松岡が古いページのセーターを手にしたとき、くまともつかない、なんともおかしな形が頭に浮かびました。「うれしいさん かなしいさん」の始まりです。その後、バザーの度に、このぬいぐるみが作られ、多くの人の手に渡りました。」

東京子ども図書館は、1974年に子どもの本と読書を専門とする私立の図書館として設立されました。その活動は記すまでもないでしょう。東京子ども図書館では東日本大震災を受け、被災地の子どもに向けて本を通じた支援「3.11からの出発」を始めました。この絵本の売り上げはそのプロジェクトの活動支援にあてられます。

詳細は <http://www.tcl.or.jp/> (運営 海保由子)

International Children's Bunko Association

国際児童文庫協会は、

海外駐在、帰国、国際結婚、移住などによりバイリンガル・バイカルチュラルな環境に育つ子どもたちのための文庫開設や文庫活動を支援するボランティア団体です。
1979年の創立から32年間、活動を続けています。



I C Bunko

国際児童文庫は自主活動グループですが、文庫活動の可能性を信じる方、それに共感する世界中の仲間によって支えられています。そして未来の文庫を開設する“タネ”へとつながっています。

**ICBA 会員
募集！**

【ICBA 会員】

文庫メンバー1500円/年

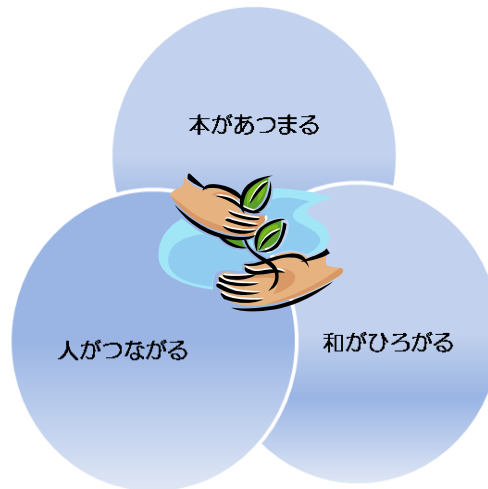
【サポート会員】

個人年会費 1500円

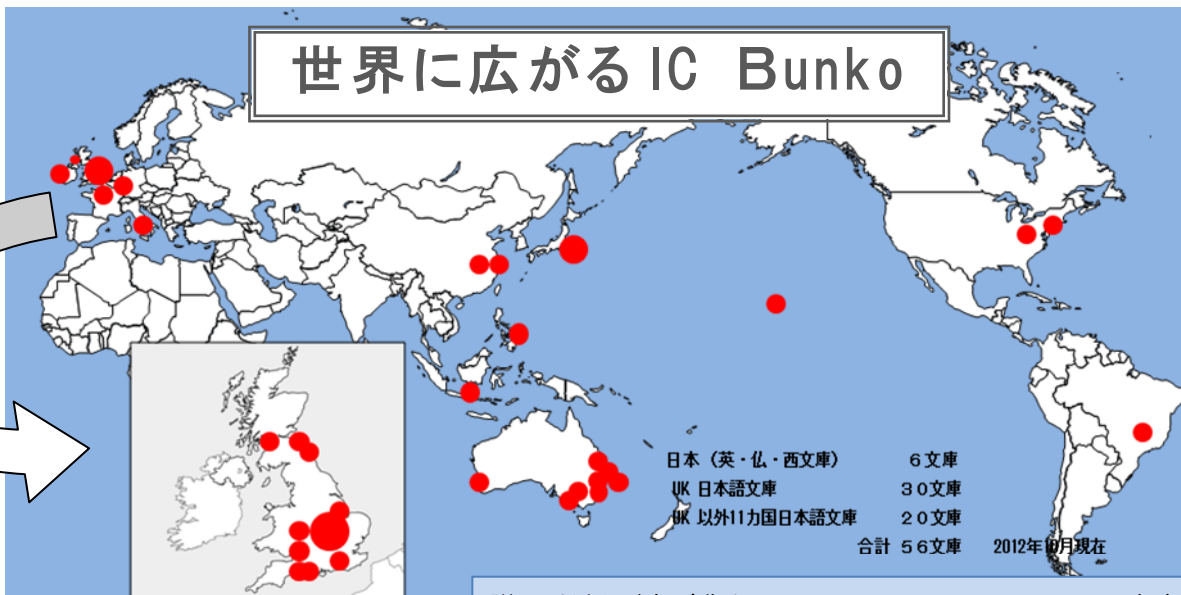
団体年会費 5000円

(一〇)

*みなさまの会費によってICBAは運営され、また新たな文庫開設への支援となります。

ICBA の活動がめざすもの**支援活動例**

- *文庫開設支援として
ウェルカムパック選書と送付
- *きのこブック送付
(=会費に応じた本の送付)
- *ホームページ管理運営、ニュースレター作成送付など
本の紹介、本の寄贈、助成に関する情報提供
- *文庫運営の相談
- *紀伊國屋書店、資生堂、文庫OG、個人の方々からご支援いただいています。

世界に広がる IC Bunko

詳しくは公式ウェブサイト→<http://www.icba-1979.org/IC文庫/>

国際児童文庫協会 (ICBA) への入会お申し込み・お問い合わせは

E-mail: icba@g00.itscom.net もしくは TEL/FAX: 045-903-1744

URL <http://www.icba-1979.org/>

郵便振替 00190-8-10437 or 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店(普)6450386

口座名義はいずれも 国際児童文庫協会

ICBA Newsletter No.72 国際児童文庫協会ニュースレター 2013年4月号

発行:丸山明栄 編集:海保由子 仁志田華子





ICBA Newsletter

Vol.72, April, 2013



Participation of the Eastern Japan Great Earthquake Memorial Ceremony Tuesday 3rd April, 2012

After the Eastern Japan Great Earthquake on 11th March 2011 helping hands were given from all over the world. A team of 63 International Rescuers from Britain was sent out immediately after the disaster, and a lot of donations were made through many charities. To show appreciation, and to pray for the early recovery of the devastated areas, the Eastern Japan Great Earthquake Memorial Ceremony was held at the Royal Botanic Gardens, Kew on Tuesday 3rd April. Two children from the Yamada-cho elementary school in Iwate-ken, Japan, were invited to the ceremony, and 50 ICBA

UK branch children joined the ceremony. They planted a zelkova tree, which is the tree of Miyagi-ken and Fukushima-ken, and the same kind of seeds of the Miracle Lone Pine Tree, which survived in the Tsunami, were donated to the Millennium Seed Bank in Kew Gardens.

ICBA UK branch children put up a big banner displaying their handmade cards to brighten up the atmosphere, and the cards were given as gifts to the children from Yamada-cho after the ceremony. It was a very lucky coincidence that the children were chosen from Yamada-cho where ICBA supports its kindergartens through its Grassroots Support.



Receiving Their Majesties the Emperor and Empress at Kyoto Garden Wednesday 17th May, 2012

The Emperor and Empress of Japan visited London to attend the Queen's Diamond Jubilee Celebrations, and before the reception they enjoyed a walk in the Kyoto Garden at Holland Park.

500 Japanese residents received the Emperor and Empress at the garden including about 80 ICBA children and their parents. Mrs. Dunn made origami Mt Fuji with ICBA children, and the children lined up to present their origami to the Emperor and Empress. The Emperor and Empress then spoke with the children.



On Saturday 19th UK Branch Manager Mrs. Morishima attended the reception held at the Japanese Embassy in London for the Japanese residents in the UK. She talked to the Emperor and Empress about the Bunko activities including the Grassroots Support for the Eastern Japan Great Earthquake victims.

IBBY Congress London 2012

23rd to 26th August, 2012

The International Board on Books for Young People (IBBY) Congress was held at Imperial College London from 23rd to 26th August 2012. This year's theme was "Crossing Boundaries: Translations and Migrations".

Mr. Takao Murayama, Chairman of the Japanese Board on Books for Young People (JBBY), Ms. Hisako Kakuage and Ms. Chieko Suemori (all from Japan) attended the Congress. At an early-bird session, they delivered a report on their support activities for an area in Tohoku devastated by the Eastern Japan Great Earthquake: "For children after 3.11: Reports from Japan". Unfortunately the time was limited, and ICBA UK branch could not take part and give a report. However, Mr. Murayama mentioned our Grassroots Support activities in his report as we had talked to JBBY about it beforehand. After the session, Mrs. Dunn and Mrs. Morishima again talked to Mr. Murayama about ICBA activities, and he was glad that he now has deeper understanding about how we set up our support following the disaster.



ICBA UK Branch printed new green folded leaflet for public relations. The leaflet was handed out at IBBY Congress London 2012 and some other place.



Welcome to ICBA!



UK Wimbledon • Chiiroba Bunko

Name : Chiiroba Bunko

Leader : Misuzu Tateishi

Founding : October, 2012

Age : 3~13 yr olds

Family : 6 families about 16 children

Day&Time : Wednesdays (About Twice a month)

Venue : Wimbledon (at Member's home)

Activities : Flashcard, book reading, Kamishibai, seasonal crafts, show & tell, songs, and hand games etc... The aim of our activities is to get our children read and write Japanese confidently.

PR : We took over and restarted "Chiiroba Bunko" in order to improve the number of children who are on the waiting list from the "Suginoko Bunko". With only one experienced member from the Suginoko Bunko, we are doing our best to make ONE. Even though the ages of the children are from babies to middle school students, everyone has a great time during the Bunko activities. Older children even help the younger ones by reading books and Kamishibai.



Visited by UK branch manager Yoko Morishima



Story time



Which book do you want?



UK Nottingham • Hifumiyo Bunko

Name : Hifumiyo Bunko

Leader : Ayako Gorton

Founding : October, 2012

Age : 1~4 yr olds

Family : 8 families (8 children)

Day : Thursday (Once a month)

Activities : We have started Hifumiyo Bunko for children who live in Nottingham and Derby. We hold the Bunko once a month at the leader's house.

Book reading, Kamishibai, singing songs, and songs with hand gestures are the main activities. We also absorb traditional Japanese culture by learning Hiragana.

PR : The members are all under five years old, but they enjoy stories in picture books and Kamishibai. We are glad to be able to read good quality Japanese books even though we are living in the UK.



Letter from Indonesia Rumah Kita Bunko New donated Books!

Rumah Kita Bunko knew "NPO Everyone's Library" through facebook. As this NPO had an activity of translating Japanese picture books into Indonesian, Mrs. Takahashi of Rumah Kita Bunko got contact with them and eventually received a donation of 20 books. Mrs. Takahashi said "Indonesian translation helps our children understand stories. They are more interested in Japanese books now and their self-reading time gets much longer than before." Such a flexible approach will bring out children's "Feel good" and build a good relationship between books and them.

*NPO Everyone's Library donates picture books to children in Aceh (Indonesia) as one of their projects.

<http://www.mintosho.org/>

We (ICBA) also have our own page on Facebook. Please visit us and click "Like"!

**Italy Rome • Olive Bunko**

Name : Olive Bunko
Leader : Tomomi Sugiyama
Founding : June, 2012
Age : 0~10 yr olds
Family : 9 families
Day&Time : Once a month
Activities : Although we are still learning what to do in our bunko, our activities are mainly Japanese traditional songs and games, book reading, Kamishibai, Origami, and Seasonal crafts.

We also want to make a place for Japanese mothers to talk and exchange information since living in Italy is not always easy.

PR : We get together once a month at a park with ancient Roman ruins or a cultural exchange space "WARAKU". Our bunko forms from 9 families, 16 children from 0 to 10 years old.

The official voice of ICBA



Storytime @park



Bananas!

**Australia Perth • Perth Kodomo Bunko**

Name : Perth Kodomo Bunko
Leader : Kyoko Kawasaki
Founding : June, 2012
Age : 4~15 yr olds
Family : 4 families+Guests
Day&Time : Saturdays(twice a month) / 2~5pm
Activities : We read, talk, play, and eat together. We read stories of the fantasyland, of somewhere far away, and of our backyard. It's a fun to catch bugs after reading a story of bugs, and

to read about bananas when picking the fruit.

PR : We started 5 years ago as a small story-telling group with three children. As children grew so did the bookshelves. Parents also started reading storybooks with children. They enjoy the stories they read when they were little children and discover new stories.

**Germany Frankfurt • Furafura Bunko**

Name : Furafura Bunko
Leader : Katsura Nobori
Founding : June, 2012
Age : 2~7 yr olds
Family : 4 families
Day&Time : Twice a month on Fridays
Venue : Frankfurt am Main
Activities : The main activity is book reading, and along with that, we cook seasonal foods and learn events from each season and also playing with words.

PR: Since we have Japanese backgrounds, we want our children to learn, feel and appreciate the Japanese culture as well as to understand and express in Japanese with fun. It is our pleasure to get together while raising our children in Germany.

This is handmade picture book.

"The hare and the tortoise"



Concentration...





ICBA REPORTS From Japan

Friday, 10th August –Satoshi Kitamura's WS at Nikoniko Camp in Nasu

Mr. Kitamura agreed with ICBA Grassroots Support Activities to give Workshop at Nikoniko Camp for children who have suffered from the Great East Japan Earthquake in March 2011. These children have limited opportunities to play outside where they live, due to the radioactive contamination. Mr. Kitamura showed them his original Kamishibai and introduced some craft activities. Mr Kitamura gave one of his picture books "Millie's Marvellous Hat" dedicating it to each child writing their name in their book.



Sunday, 1st July –Meeting with Two Bunko leaders from Italy

The committee and Leaders from Ringo Bunko (Mrs. Ramsay) and Olive Bunko (Mrs. Sugiyama) had a meeting at Narnia Book Shop in Ginza. They talked about recent activities and Bunko management and other related topics.

Tuesday, 21th August - Read Aloud at the Public Library by Little Indian Bunko & Arc-en-Ciel Bunko

As shown in the picture on the front page, Little Indian Bunko and Arc-en-Ciel Bunko, each gave a Story Hour at Kawasaki-City Public Library and read aloud in English, French, and Japanese. Children enjoyed songs such as "Greetings" and "Where is the Thumb?" as well as the picture book called "It is Secret" in three languages. The idea came true after talking with the previous Head Librarian, who very unfortunately passed away while preparing this event. Children enjoyed this unique trilingual Story Hour.

Tuesday, 23th October - Bunko Meeting

The committee and the leaders from Little Indian Bunko, Shonan Echo Bunko and Humpty Dumpy Bunko had a "Bunko Meeting", to talk about Bunko activities and discuss the next ICBA Festival in January. In addition, The first "Book Exchange" program was held and English books, which were donated by the UK Branch were given away.

Tuesday 23rd October - Joined "Miyamae Book and Story Week"

ICBA Committee joined the annual event in Miyamae-ku, Kawasaki-City, "Miyamae Book and Story Week". We introduced our organization and Bunko activities with panel displays, and also delivered a report in the session called "Spread the Circle of Books around the World - The Activities of International Volunteers". It was a good opportunity to spread the word about ICBA to the wider audience.

Monday 28th October – Gave a talk about ICBA activities at Jissen Women's University

As requested by Professor Taku Kobayashi of Jissen Women's University, one of ICBA Board Members, Yuko Kaiho, gave a lecture about ICBA and its' activities to a class on the Librarianship Course. She showed some pictures from Bunko and introduced related interesting materials to the students.



Saturday, 3rd November - Little Indian Bunko joined Kawasaki-City Student International Festival

Little Indian Bunko children joined "The 28th Kawasaki-City Student International Festival – Visiting the Impressive World" at the Miyamae Community Centre in Kawasaki-City. They sang "BINGO" in English with a dance, which they had been practicing for this event, and sang "Sekai ni Hitotsu dake no Hana" with sign language.